

講演会「空気中に浮かんでいる有害な小さな粒」

講師：田結庄 良昭 (たいのしょう よしあき) 氏

(神戸大学名誉教授)

最近、中国のPM2.5を含む大気汚染の影響が日本にも及んでいると報道され、PM2.5が中国由来のような印象を与えています。しかし、PM2.5の形態や化学組成については、ほとんど報道されていません。講師は電界放射型走査電子顕微鏡を使ってこれを検討されました(八木・田結庄、2010)。その結果、PM2.5の多くはディーゼル排気微粒子からなることを明らかにされました。

2009年、国はPM2.5の環境基準値(年平均1m³あたり15μg以下、1日平均1m³あたり35μg以下)を決めました。しかし、2010年には、全国46ヶ所の測定点のうち、千葉市や川崎市など34ヶ所で年平均濃度が環境基準値を上回りました。大都市の道路沿いでは、現在もなおPM2.5の影響は深刻です。PM2.5は中国由来のものもかなりありますが、国内の深刻な問題でもあります。

今回の講演では、PM2.5の問題を中心に大気汚染について分かりやすく解説していただきます。

1. 日 時 8月3日(土) 14:00~16:00

2. 会 場 吹田市立博物館 2階 講座室

※聴講ご希望の方は、当日定刻に会場にお越しください。

※聴講無料(講座室だけの場合)

※問い合わせ先 TEL 06-6338-5500(吹田市立博物館)

吹田市立博物館：吹田市岸部北4-10-1 TEL06-6338-5500

交通案内

- J R 岸辺駅下車徒歩20分
- J R 吹田駅・阪急吹田駅から
桃山台駅前ゆき、山田樫切山ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分
千里中央ゆき、阪急山田ゆきバス「岸部」下車徒歩10分
- J R 吹田北口から
五月が丘南ゆきバス「五月が丘西」下車徒歩7分
- 阪急南千里駅から
J R 吹田ゆきバス②、③系統「佐井寺北」下車徒歩10分
- 車でのご来館は、佐井寺北・五月が丘方面からお願いします。

